

【平成 26 年度・前期学期・ミクロ経済学 III・課題 1】

☆ 提出締切：平成 26 年 5 月 12 日講義開始時

【問1】 次のようにある財の市場における、需要関数・供給関数が与えられている場合について、後の設問に答えなさい。

供給関数: $Q_s = -4 + 2P$

需要関数: $Q_d = 18.75 - 1.25P$

但し、 Q_s は供給量、 Q_d は需要量 P は市場価格を表す。

- (1) 上の、需要関数・供給関数を経済学の慣行に従ってグラフに描きなさい。その際、グラフの縦軸と横軸を正しく定めること。
- (2) この市場が均衡状態にあるとき、均衡価格と均衡数量を求めなさい。(グラフにも書き入れること。)
- (3) (2) で求めた市場均衡における点の需要の価格弾力性を求めなさい。
- (4) この均衡における消費者余剰と生産者余剰を求めなさい。

【問2】 次の表現を簡単にしなさい。

(ア) $X^2 \cdot X^5$

(オ) $C^{0.5} \cdot C^{0.9}$

(イ) $X^{0.3} \cdot X^{2.5}$

(カ) $D^{-0.8} \cdot D^{0.2}$

(ウ) $4 \cdot X^{0.3} \cdot 4 \cdot X^{2.5}$

(キ) $X^{-0.5} \div X^{2.5}$

(エ) $Z \cdot X^{0.5} \cdot Z^{0.6} \cdot X^{0.7}$

(ク) $(R^{0.5} + R^{0.5} \cdot X) \cdot R^{-1}$

【問3】 次のように生産関数が与えられている場合、これらの生産関数が、規模の収穫について逓増、一定もしくは逓減のいずれであるか判定しなさい。ただし、 K は資本の投入量、 L は労働投入量、 q は企業の産出量である。

(ア) $q = 2K^{0.2}L^{0.8}$

(イ) $q = 2K + L$

(ウ) $q = 2K + 4L$

(エ) $q = 2K^2 + 4KL + 2L^2$